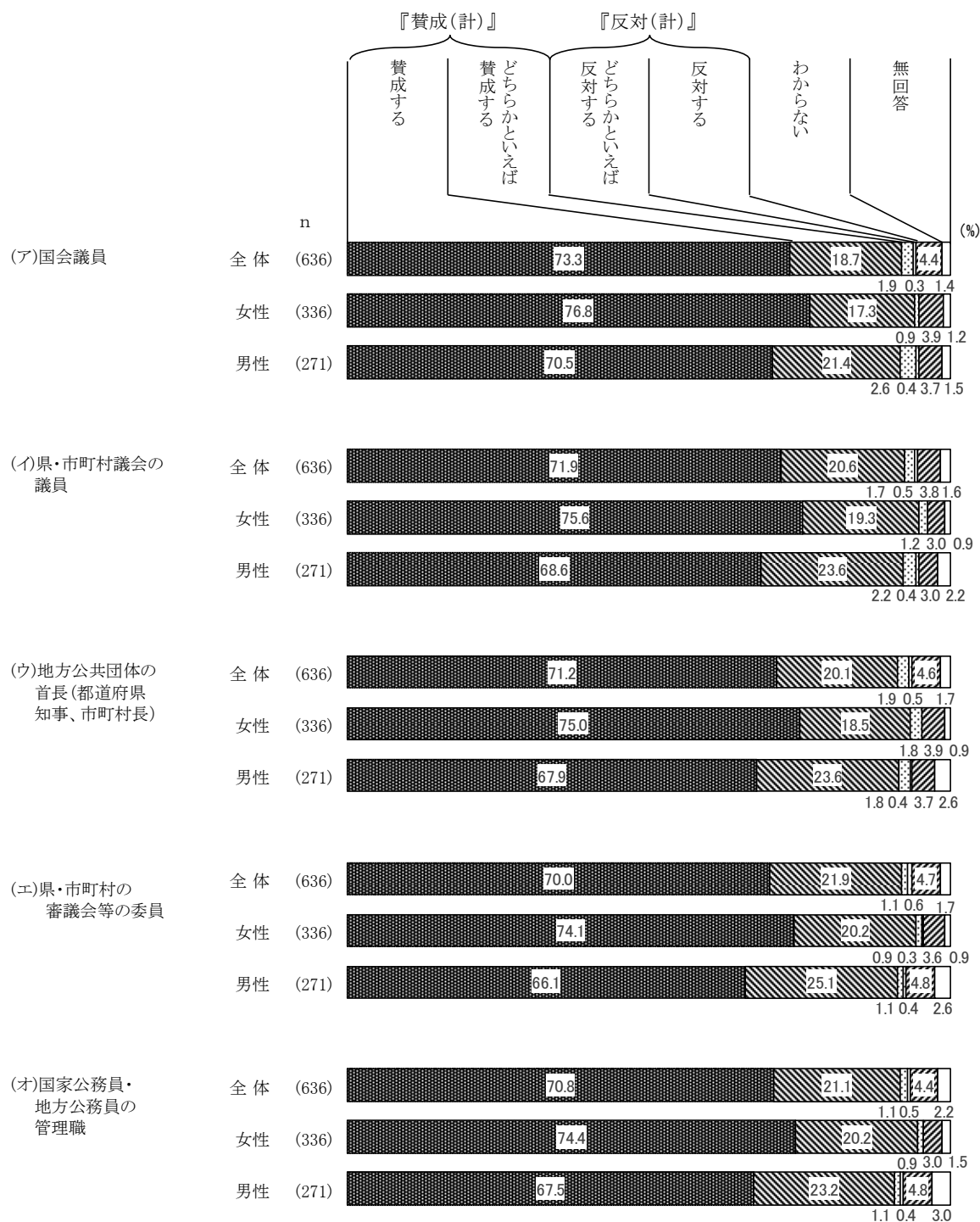


7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について

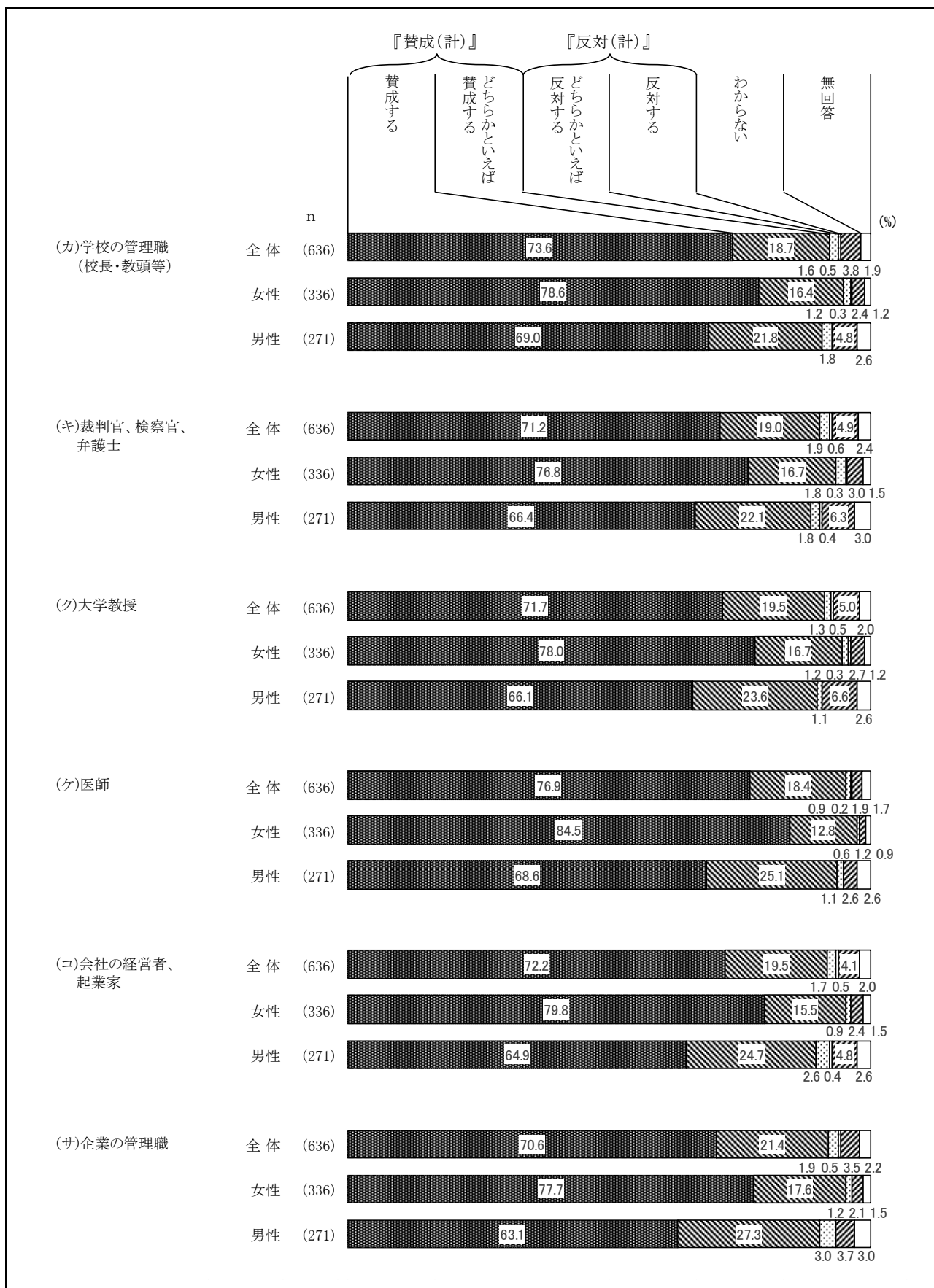
(1) 役職・公職への女性の進出についての考え方

問21. あなたは、次の(ア)～(ソ)にあげるような役職・公職への女性の進出について、どのように思いますか。(ア)～(ソ)それぞれについて、あなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。※(ソ)については、該当がある場合のみご記入ください。

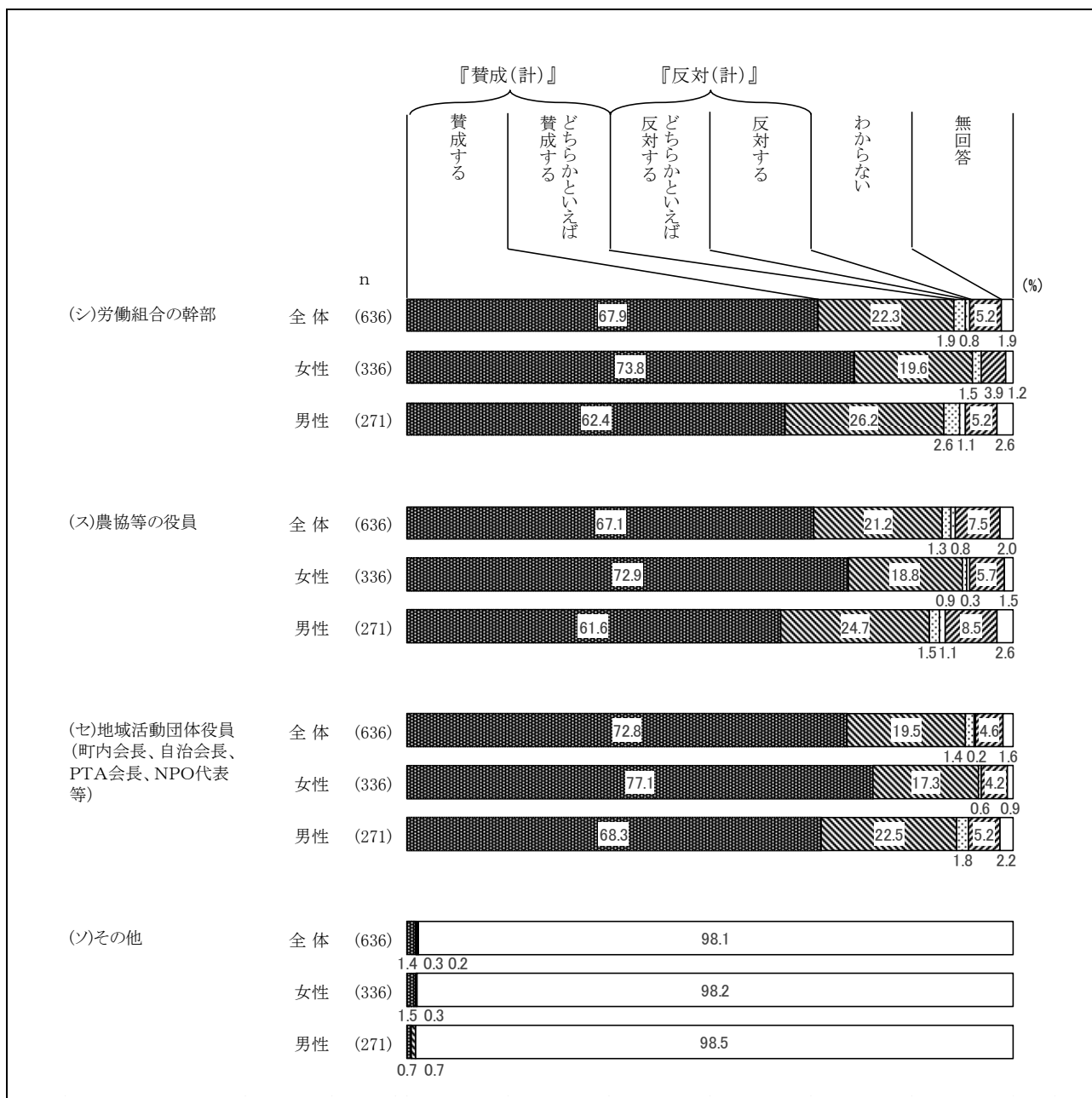


調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について

(1) 役職・公職への女性の進出についての考え方



調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について
(1) 役職・公職への女性の進出についての考え方



役職・公職への女性の進出についての考え方について、『賛成(計)』の割合は、「(ス)農協等の役員」を除くすべての分野において、9割を超えている。

『賛成(計)』の割合が最も高いのは、「(ケ)医師」で95.3%となっており、次いで「(イ)県・市町村議会の議員」で92.5%、「(カ)学校の管理職(校長・教頭等)」、「(セ)地域活動団体役員(町内会長、自治会長、PTA会長、NPO代表等)」でともに92.3%となっている。

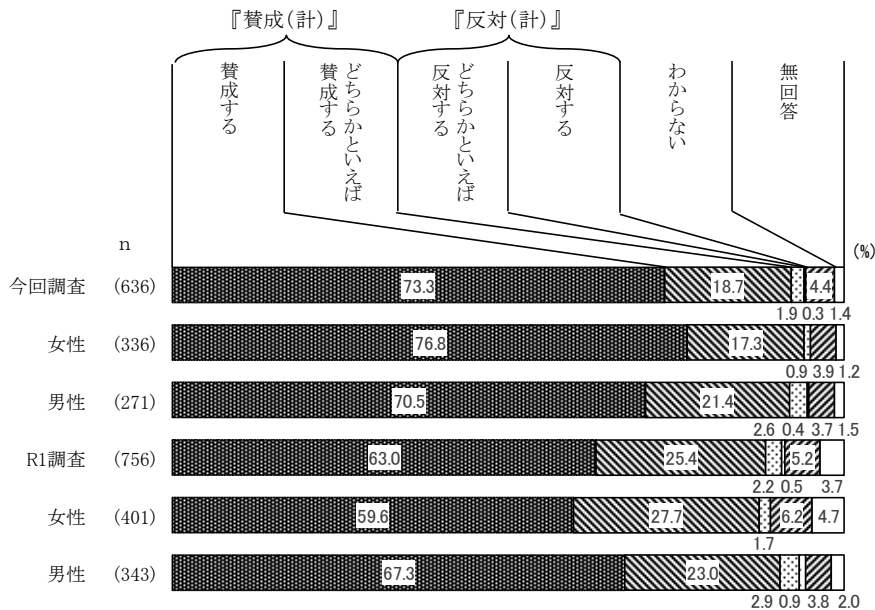
一方、『反対(計)』の割合は、すべての項目で1割未満となっている。

調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について
 (1) 役職・公職への女性の進出についての考え方

(ア) 国会議員

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、女性の『賛成（計）』の割合は、6.8ポイント高くなっている。

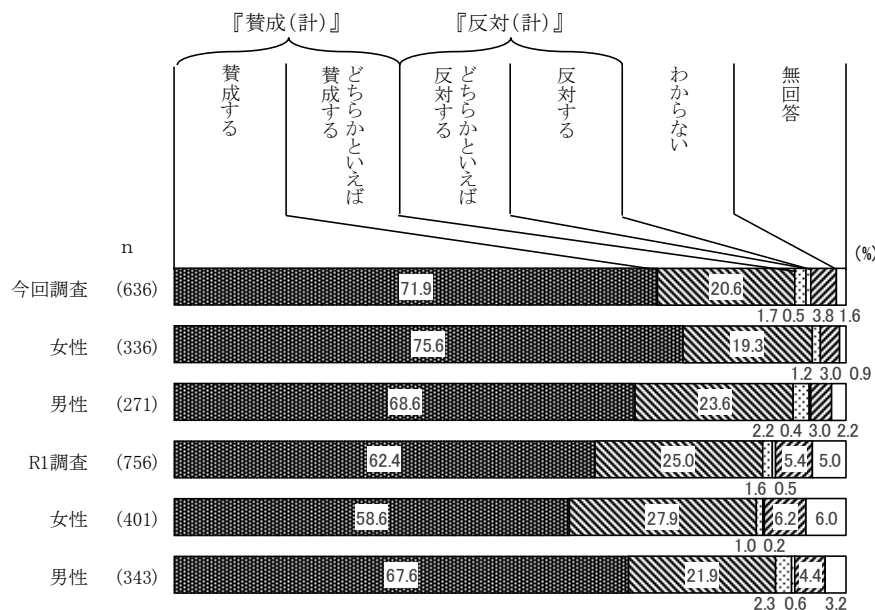


(イ) 県・市町村議会の議員

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は前回調査よりも5.1ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも女性で8.4ポイント、男性で2.7ポイント、それぞれ高くなっている。

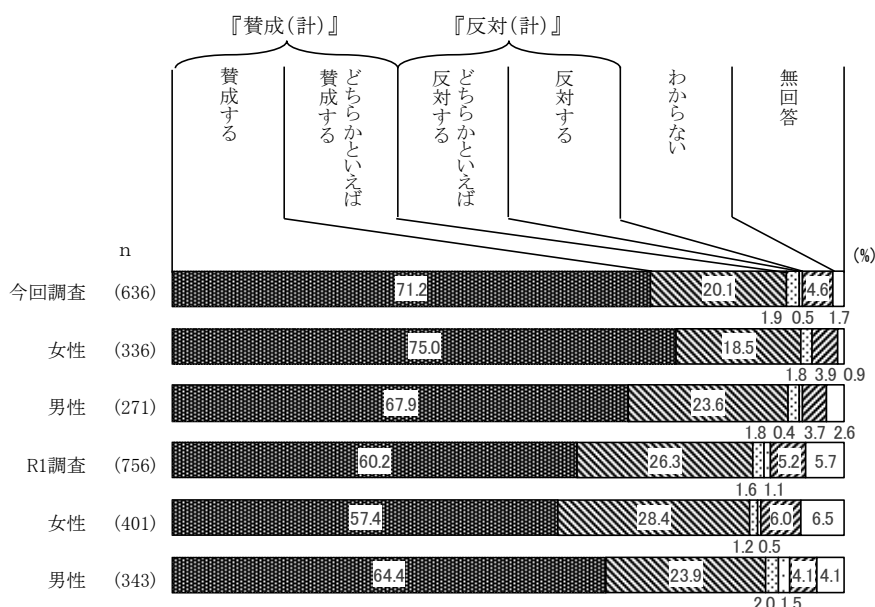


(ウ) 地方公共団体の首長（都道府県知事、市町村長）

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも4.8ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、女性で前回調査よりも7.7ポイント、男性で3.2ポイントそれぞれ高くなっている。

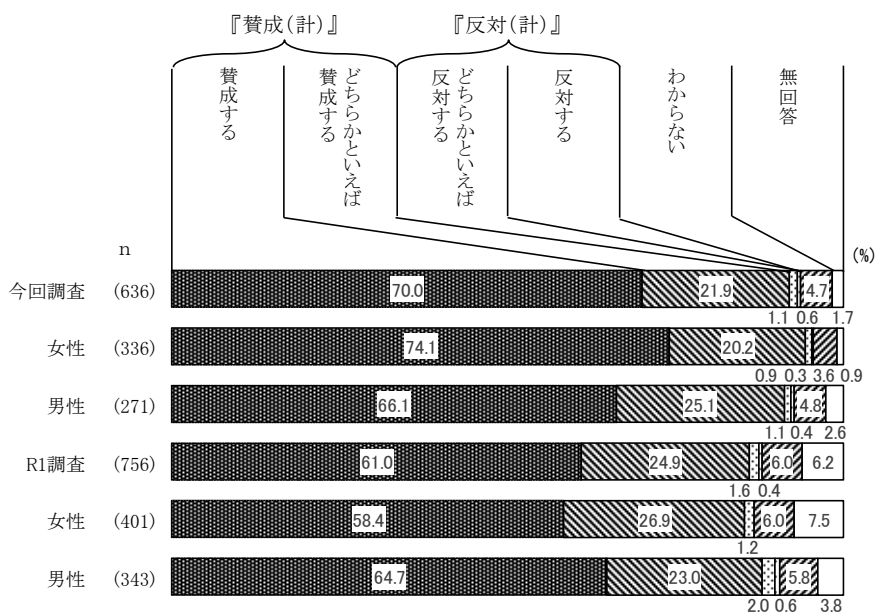


(エ) 県・市町村の審議会等の委員

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも6.0ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、女性で前回調査よりも9.0ポイント、男性で3.5ポイントそれぞれ高くなっている。



調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について

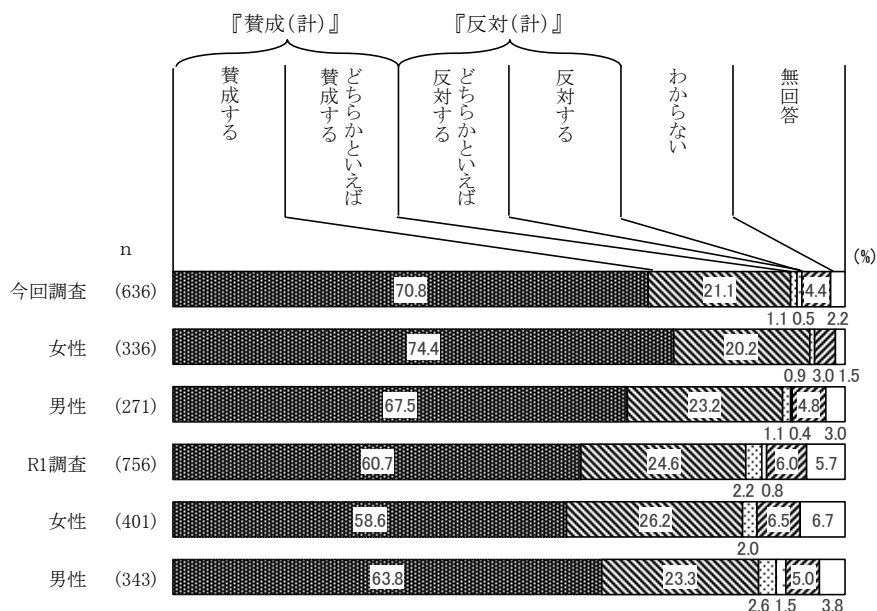
(1) 役職・公職への女性の進出についての考え方

(オ) 国家公務員・地方公務員の管理職

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも6.6ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、女性で前回調査よりも9.8ポイント、男性で3.6ポイントそれぞれ高くなっている。

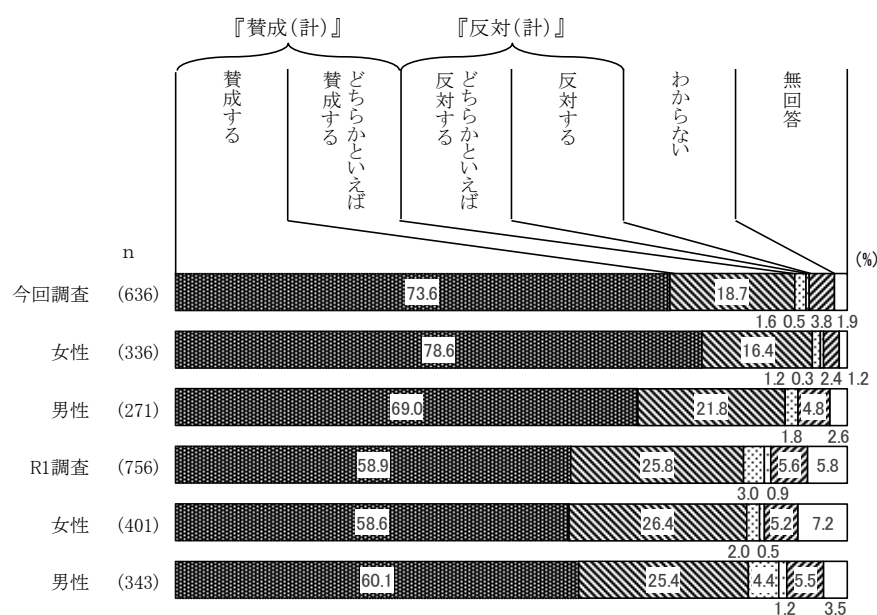


(カ) 学校の管理職（校長・教頭等）

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも7.6ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』は、女性で前回調査よりも10.0ポイント、男性が5.3ポイントそれぞれ高くなっている。

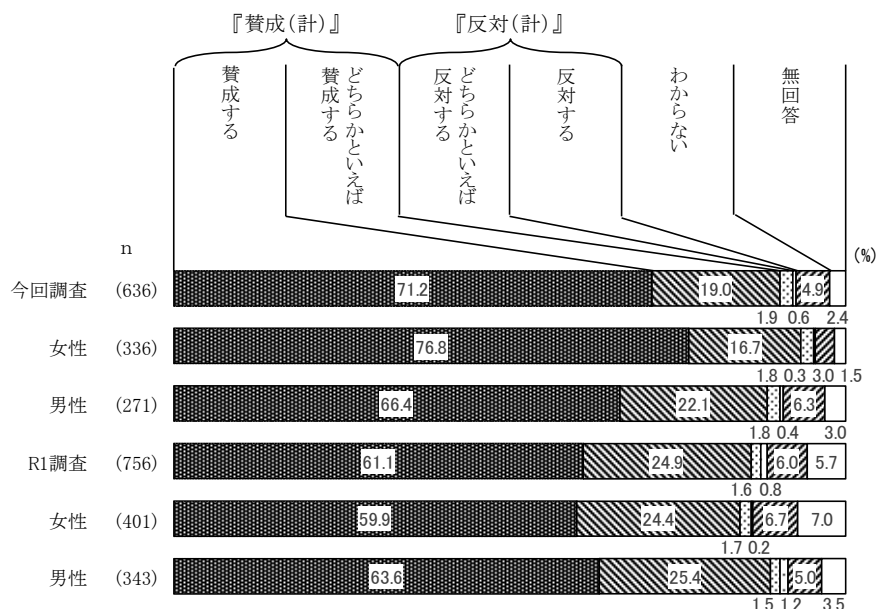


(キ) 裁判官、検察官、弁護士

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも4.2ポイント高くなっている。

『賛成（計）』の割合は、女性で前回調査よりも9.2ポイント高くなっている。

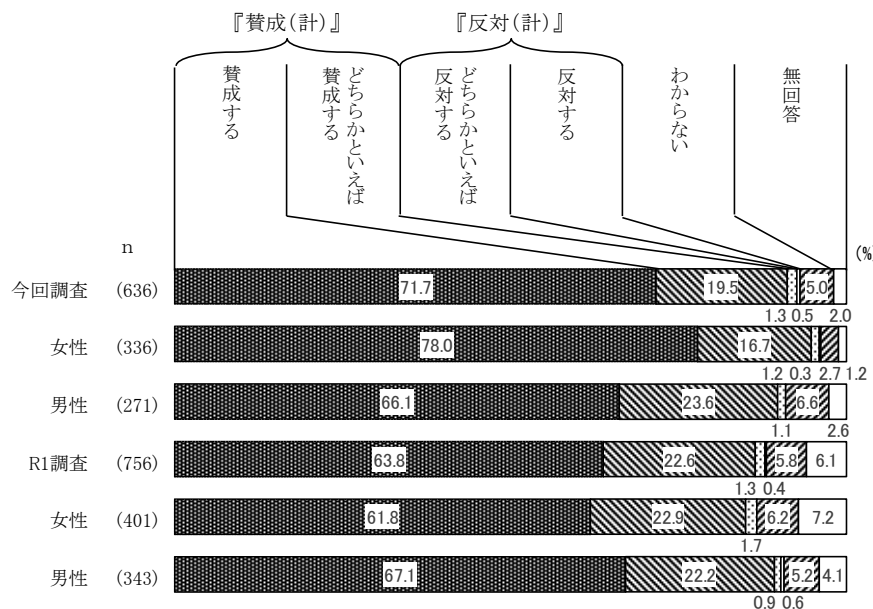


(ク) 大学教授

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも4.8ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』は、女性で前回調査よりも10.0ポイント高くなっている。



調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について

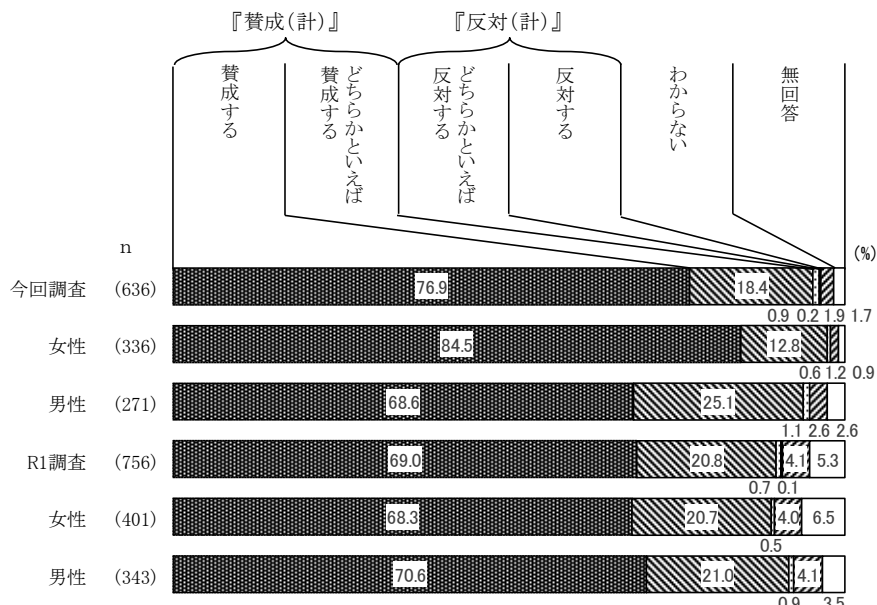
(1) 役職・公職への女性の進出についての考え方

(ケ) 医師

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも5.5ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、女性で前回調査よりも8.3ポイント高くなっている。

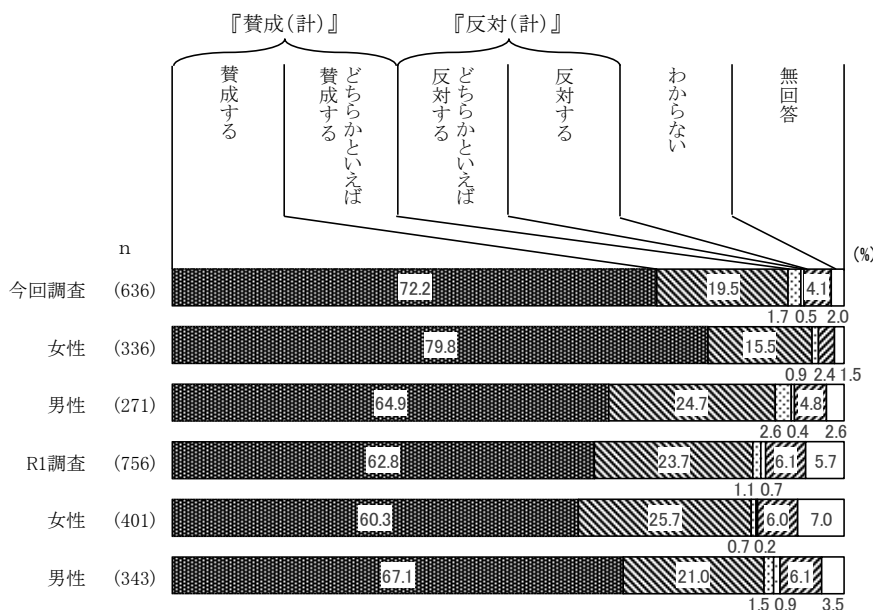


(コ) 会社の経営者、起業家

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも5.2ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、女性で前回調査よりも9.3ポイント高くなっている。

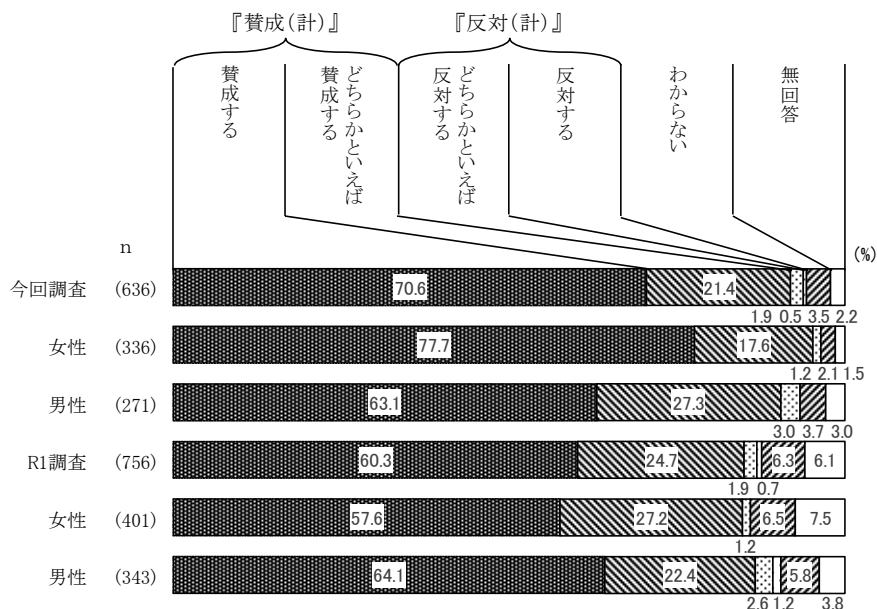


(サ) 企業の管理職

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも7.0ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも女性で10.5ポイント、男性で3.9ポイントそれぞれ高くなっている。

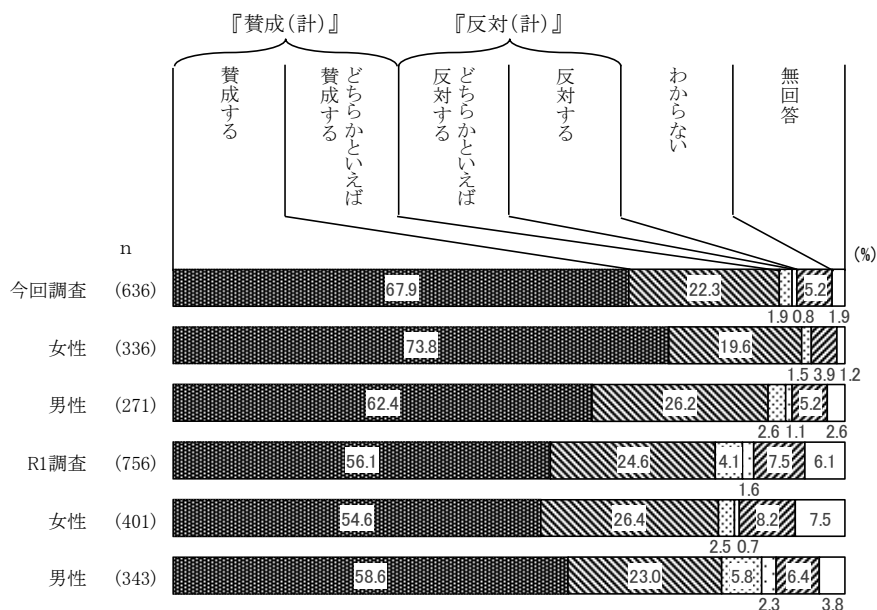


(シ) 労働組合の幹部

【前回調査（令和元年）との比較】

全体で『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも9.5ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも女性で12.4ポイント、男性で7.0ポイントそれぞれ高くなっている。



調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について

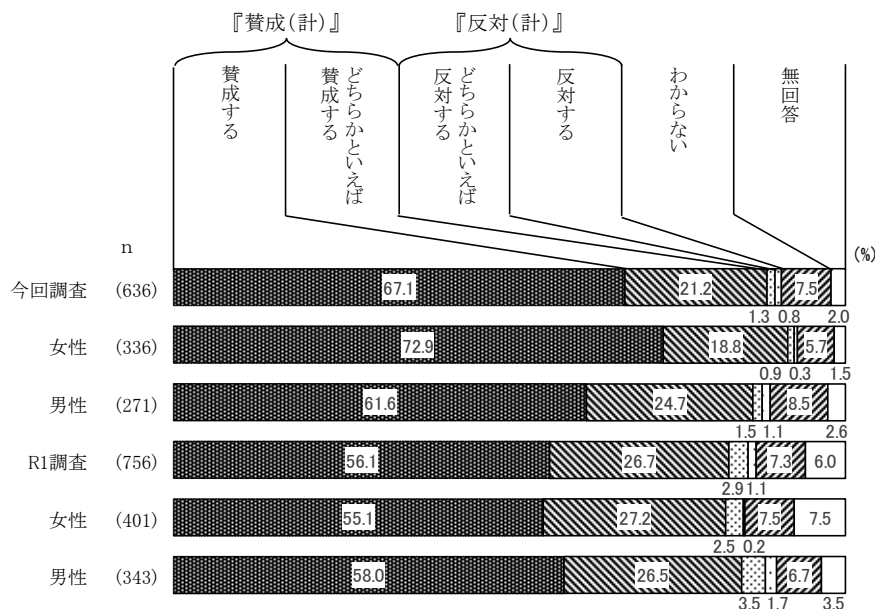
(1) 役職・公職への女性の進出についての考え方

(ス) 農協等の役員

【前回調査（令和元年）との比較】

全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも5.5ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』は、女性が前回調査よりも9.4ポイント高くなっている。

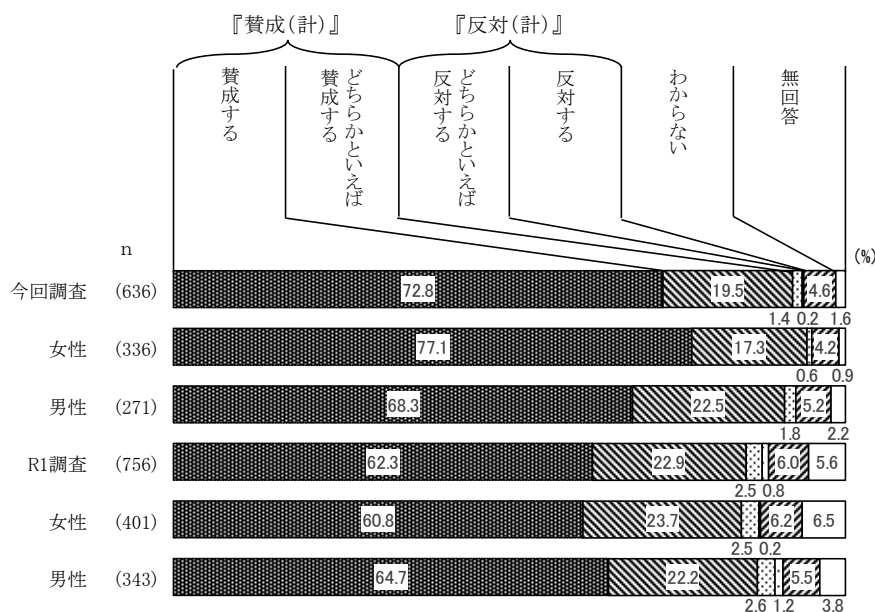


(セ) 地域活動団体役員（町内会長、自治会長、PTA会長、NPO代表等）

【前回調査（令和元年）との比較】

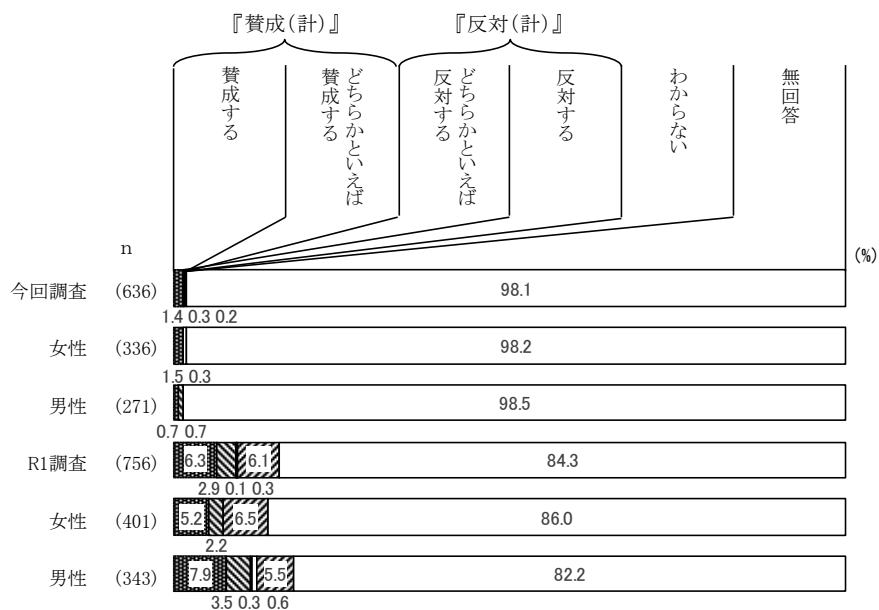
全体では『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも7.1ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、女性が前回調査よりも9.9ポイント、男性で3.9ポイントそれぞれ高くなっている。



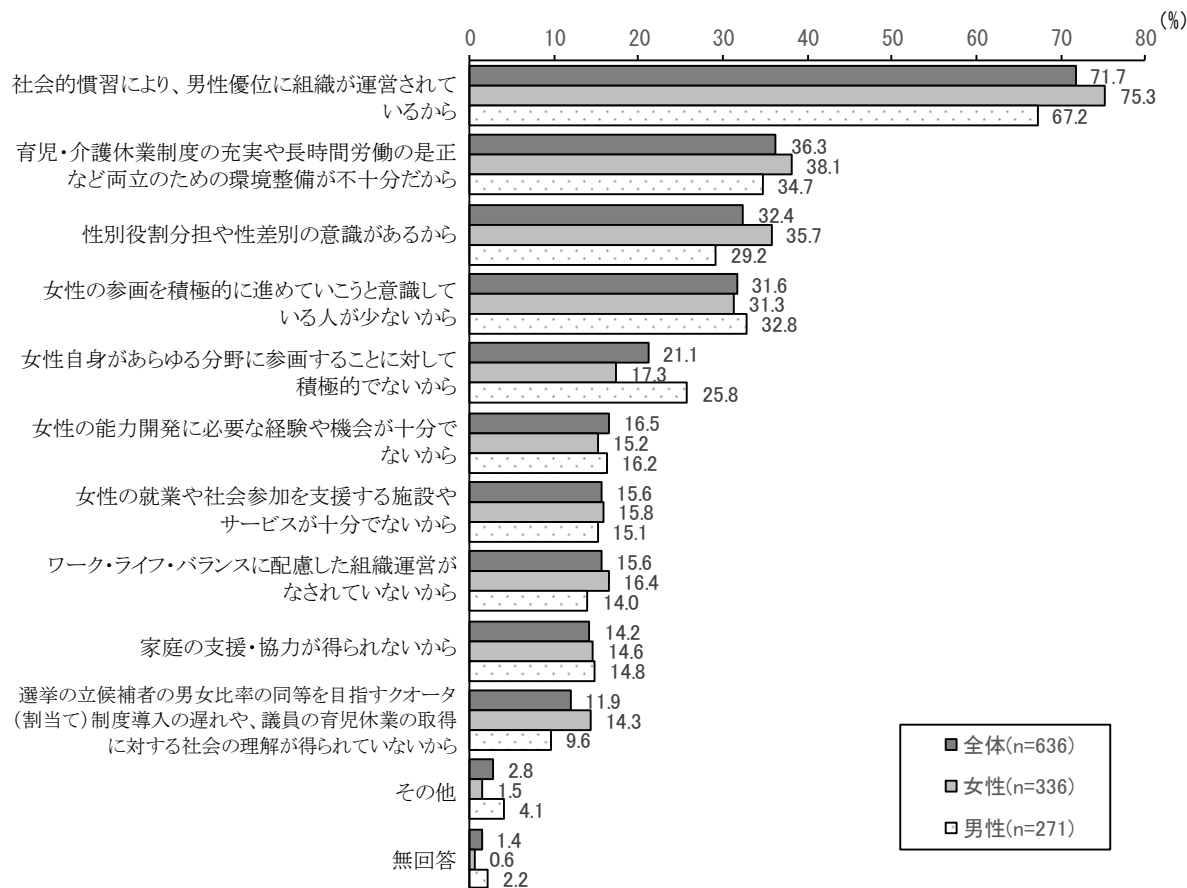
(ソ) その他【前回調査（令和元年）との比較】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。



(2) 政策や企画、方針決定に関わる女性の割合が少ない理由

問2 2. あなたは、政治や行政、職場、地域などあらゆる分野において、政策や企画、方針決定の場に女性の割合が少ない理由は何だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



政策や企画、方針決定に関わる女性の割合が少ない理由は、「社会的慣習により、男性優位に組織が運営されているから」が71.7%で最も高く、次いで「育児・介護休業制度の充実や長時間労働の是正など両立のための環境整備が不十分だから」で36.3%、「性別役割分担や性差別の意識があるから」で32.4%となっている。

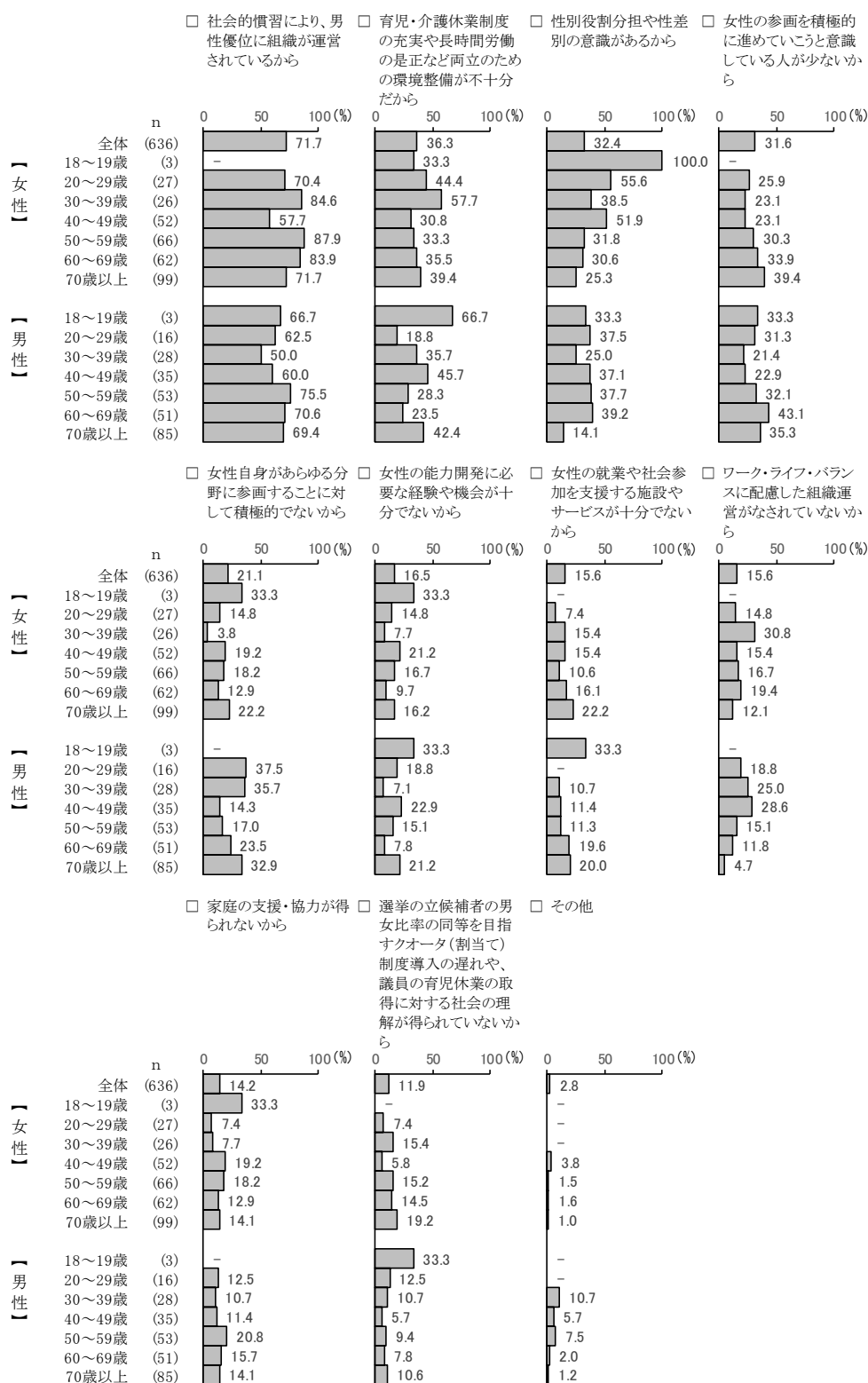
性別にみると、女性が男性よりも割合が高いのは、「社会的慣習により、男性優位に組織が運営されているから」で8.1ポイント、「性別役割分担や性差別の意識があるから」で6.5ポイント、それぞれ高くなっている。

男性が女性よりも割合が高いのは「女性自身があらゆる分野に参画することに対して積極的でないから」で8.5ポイント高くなっている。

調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について
(2) 政策や企画、方針決定に関わる女性の割合が少ない理由

【性・年齢別】

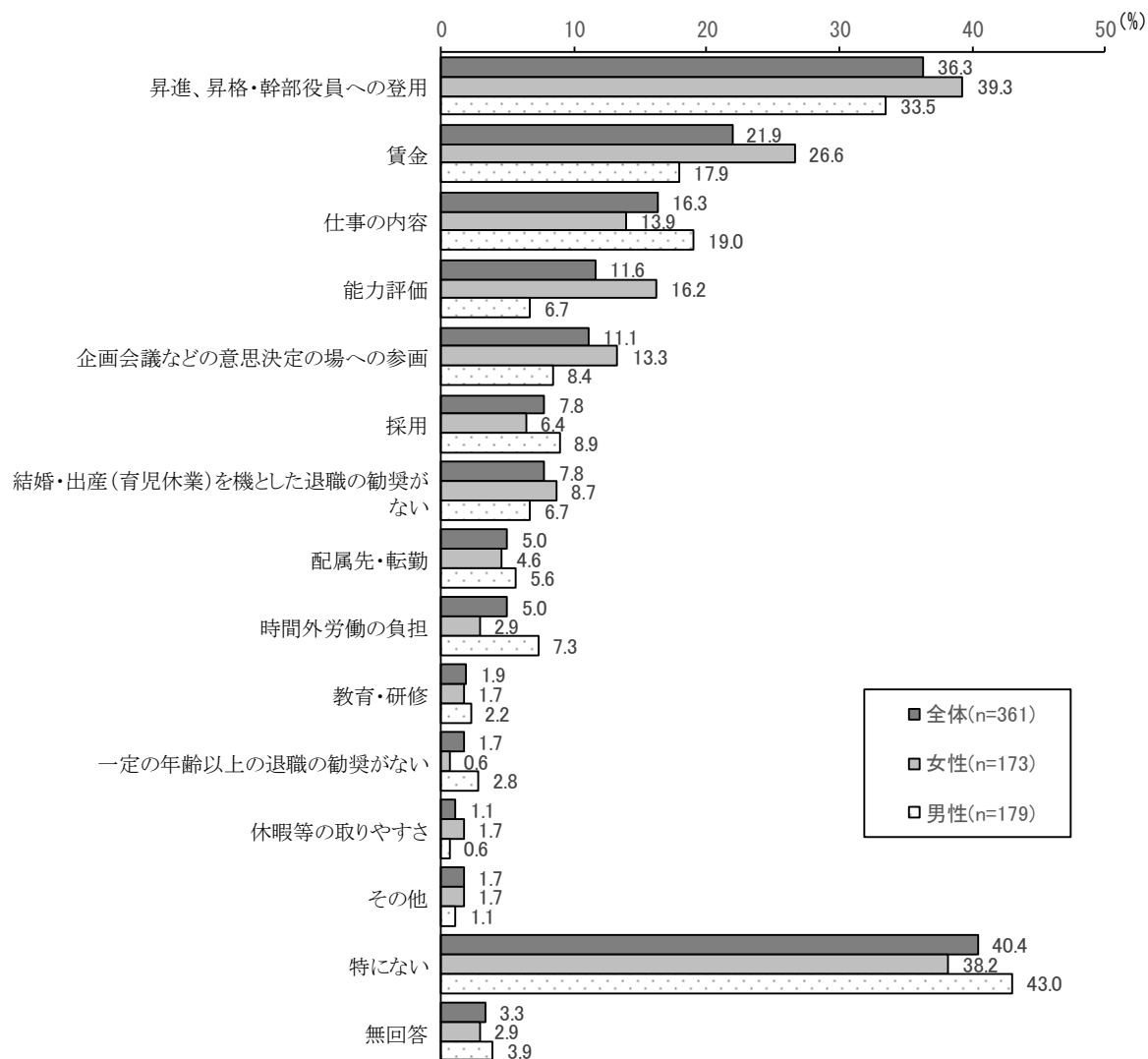
性・年齢別にみると、「社会的慣習により、男性優位に組織が運営されているから」は、女性50～59歳、女性30～39歳、女性60～69歳で8割を超えている。



(3) 職場で仕事内容や待遇面の運用などで男性が優遇されていると思うこと

※現在働いている方のみお答えください

問23. あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面の運用や実態で、男性が優遇されていると思うことはありますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



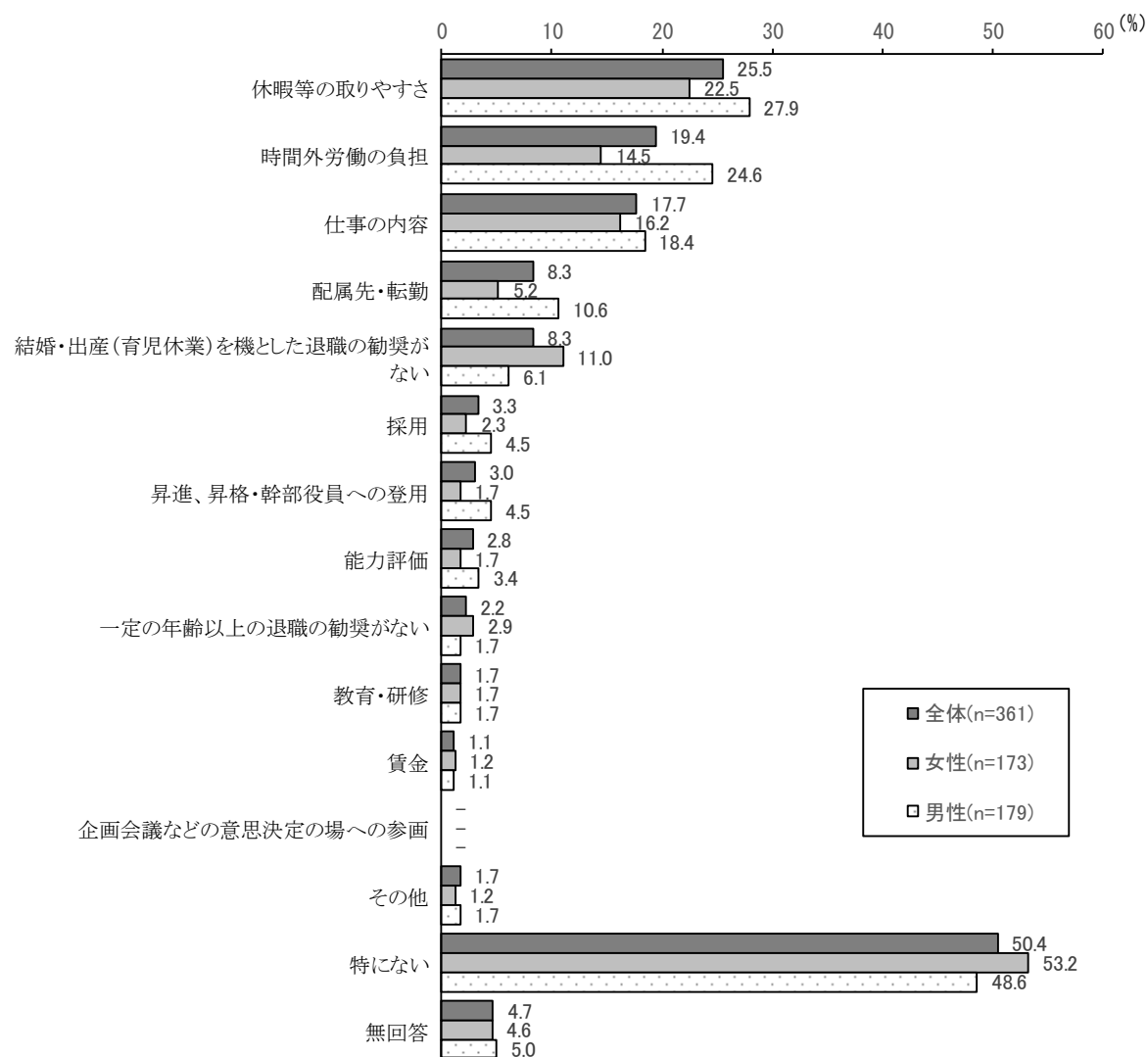
職場で仕事内容や待遇面の運用などで男性が優遇されていると思うことは、「昇進、昇格・幹部役員への登用」が36.3%で最も高く、次いで「賃金」で21.9%、「仕事の内容」で16.3%となっている。

性別にみると、「能力評価」で9.5ポイント、「賃金」で8.7ポイント、女性が男性よりもそれぞれ高くなっている。一方、「仕事の内容」では、男性が女性よりも5.1ポイント高くなっている。

(4) 職場で仕事内容や待遇面の運用などで女性が優遇されていると思うこと

※現在働いている方のみお答えください

問24. あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面の運用や実態で、女性が優遇されていると思うことはありますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



職場で仕事内容や待遇面の運用などで女性が優遇されていると思うことは、「休暇等の取りやすさ」が25.5%で最も高く、次いで「時間外労働の負担」で19.4%、「仕事の内容」で17.7%となっている。

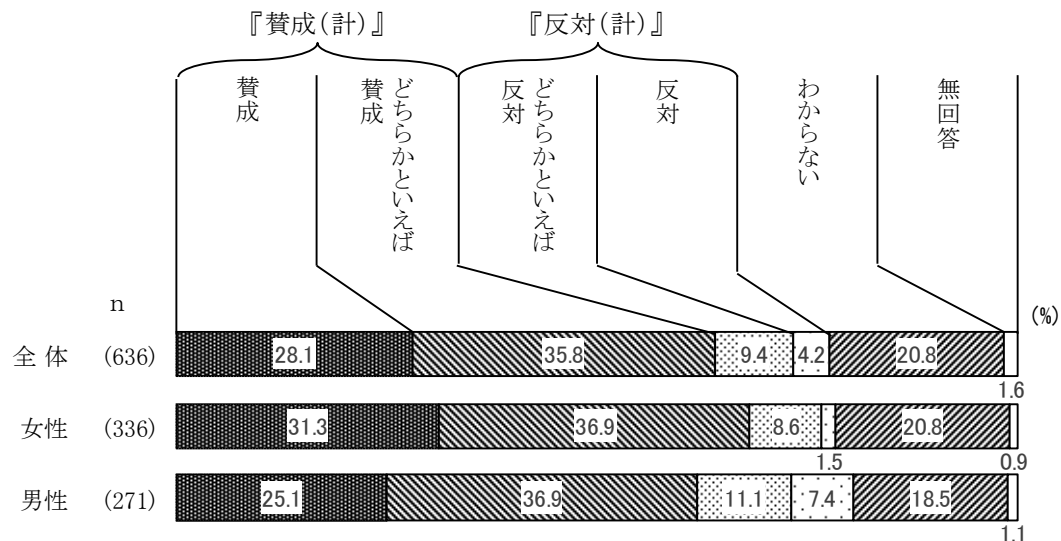
性別にみると、女性が男性よりも割合が高いのは、「結婚・出産（育児休業）を機とした退職の勧奨がない」で4.9ポイント高くなっている。

男性が女性よりも割合が高いのは、「時間外労働の負担」で10.1ポイント、「休暇等の取りやすさ」で5.4ポイント、「配属先・転勤」で5.4ポイント、それぞれ高くなっている。

(5) ポジティブ・アクションについての考え

問25. あなたは「ポジティブ・アクション(*)」についてどう思いますか。下の選択肢からあなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。

(*) 女性の不平等を是正するため、女性があまり進出していない分野で一時的に女性の優先枠を設けるなどの積極的な改善の取組のこと。



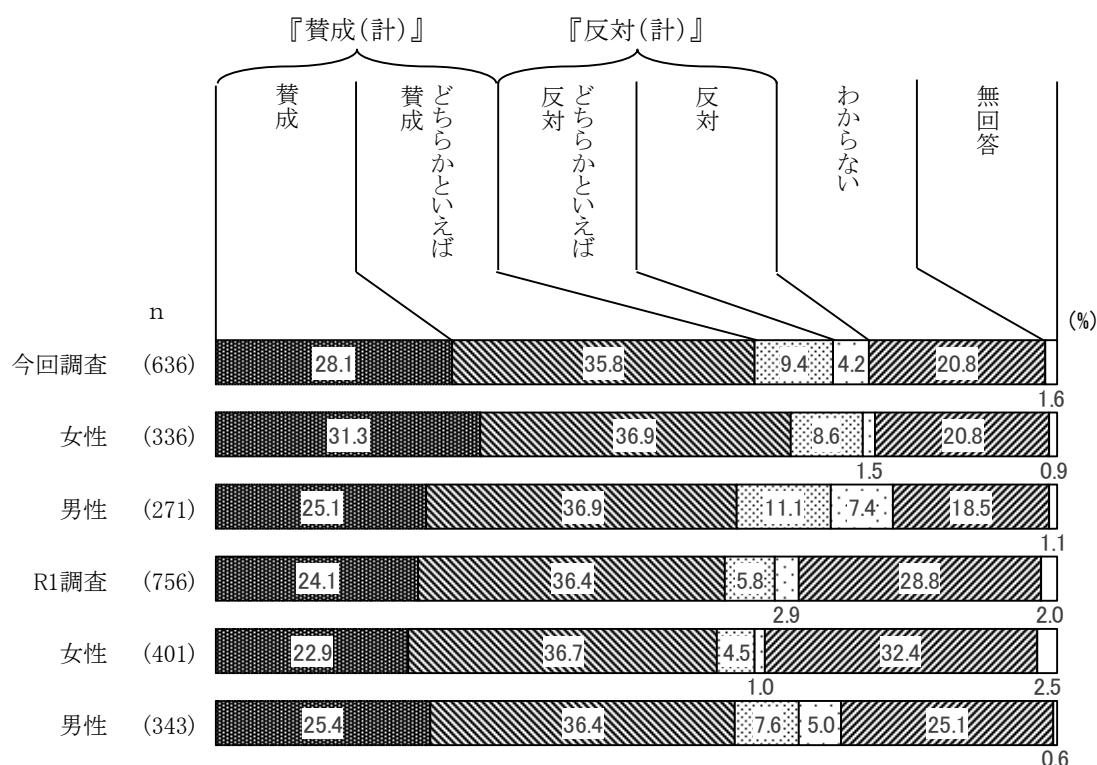
ポジティブ・アクションについてどう思うか聞いたところ、『賛成(計)』は63.9%、『反対(計)』の割合は13.6%、『わからない』は20.8%となっている。

性別にみると、『賛成(計)』は女性が男性よりも6.2ポイント高くなっている。一方、『反対(計)』の割合は男性が女性よりも8.4ポイント高くなっている。

【前回調査（令和元年）との比較】

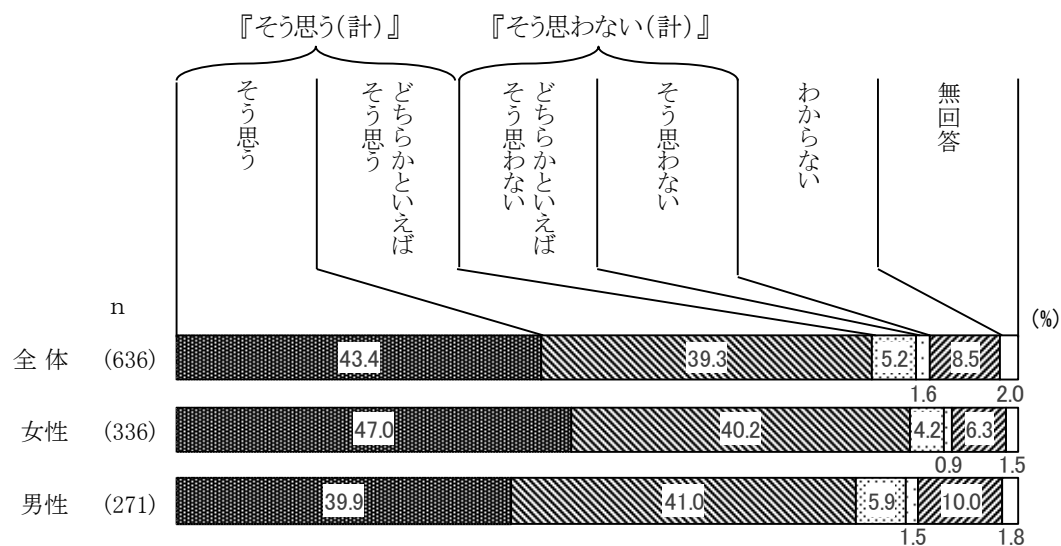
前回調査と比較すると、『反対（計）』の割合が4.9ポイント高くなっている。

性別にみると、『賛成（計）』の割合は、前回調査よりも女性が8.6ポイント、男性が0.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『反対（計）』の割合は、前回調査よりも女性が4.6ポイント、男性が5.9ポイント、それぞれ高くなっている。



(6) 女性の活躍推進についての考え

問26. あなたは、女性の活躍を推進したほうがよいと思いますか。あなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。

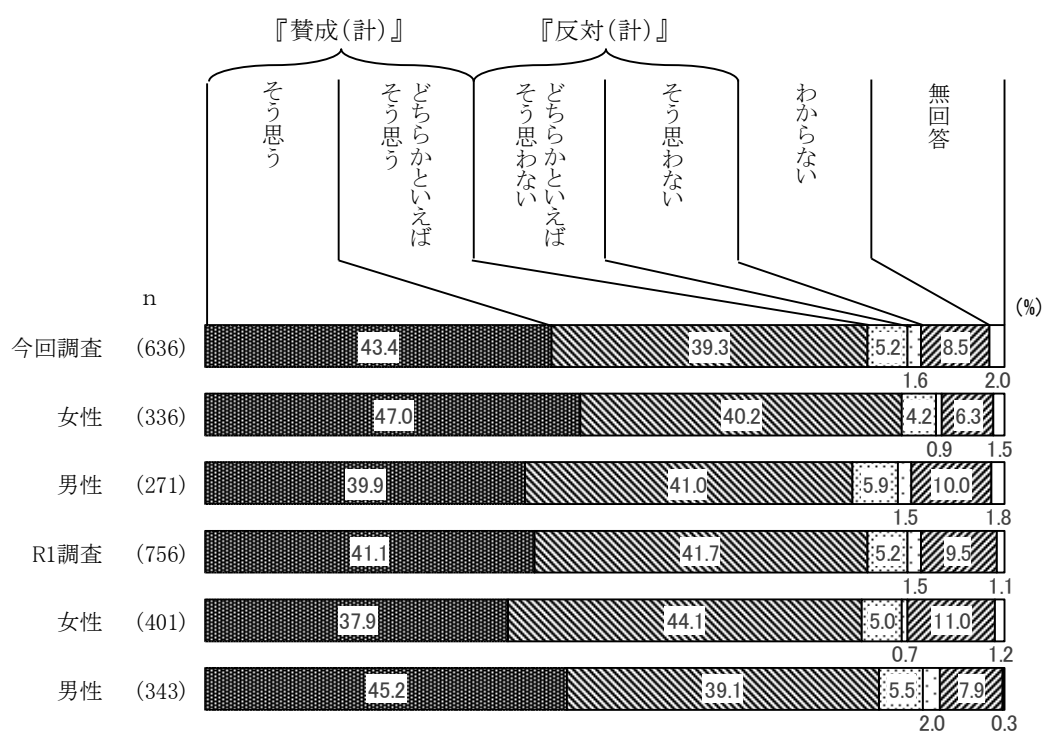


女性の活躍を推進したほうがよいと思うか聞いたところ、『そう思う(計)』の割合は82.7%で『そう思わない(計)』(6.8%)を大きく上回っている。

性別にみると、『そう思う(計)』は女性が男性よりも6.3ポイント高くなっている。

【前回調査(令和元年)との比較】

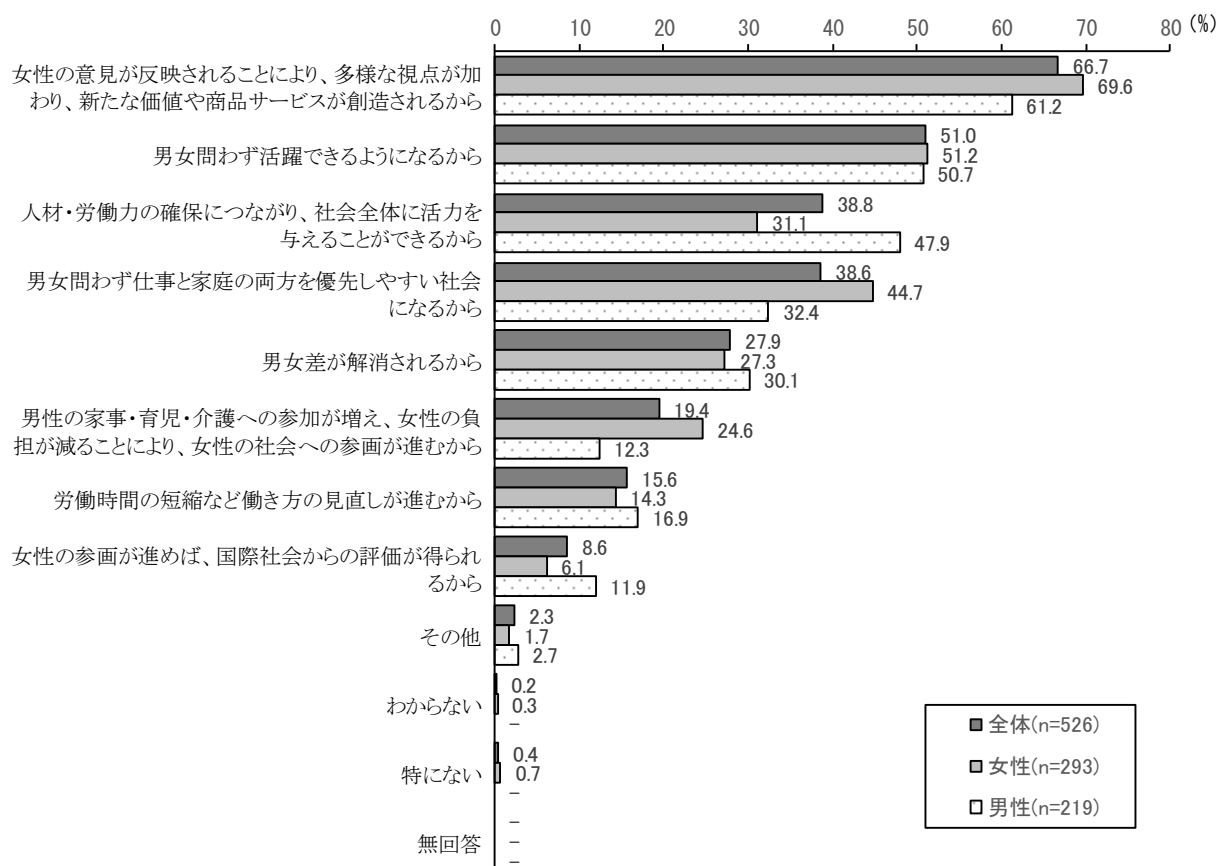
前回調査と比較すると、『そう思う(計)』の割合は、女性が5.2ポイント高くなっている一方、男性は3.4ポイント低くなっている。



(7) 女性の活躍を推進した方がよい理由

※問26で「1 そう思う」、「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方のみお答えください。

問27. その理由を教えてください。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。



女性の活躍を推進した方がよい理由を聞いたところ、「女性の意見が反映されることにより、多様な視点が加わり、新たな価値や商品サービスが創造されるから」が66.7%で最も高く、次いで「男女問わず活躍できるようになるから」で51.0%、「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができるから」で38.8%となっている。

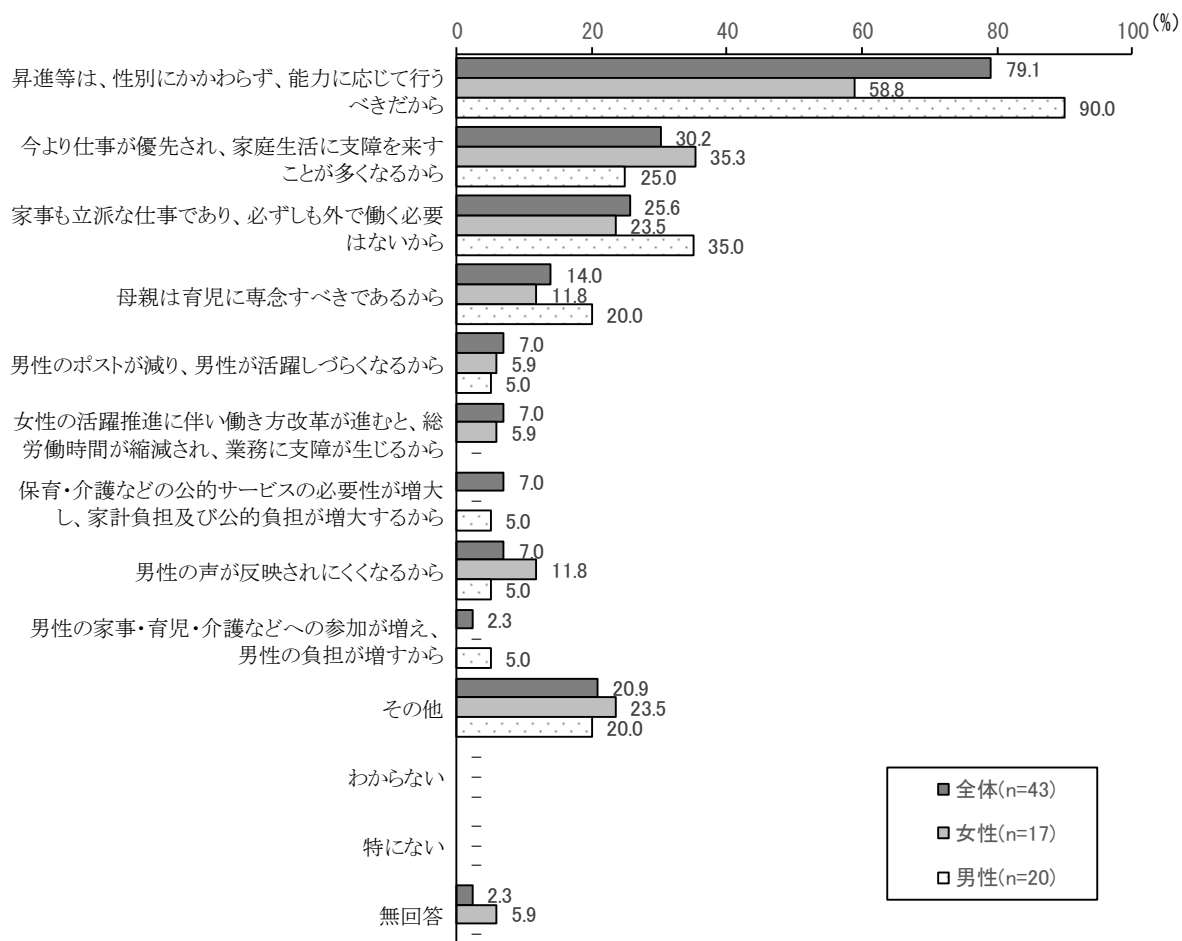
性別にみると、女性が男性よりも割合が高いのは、「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になるから」で12.3ポイント、「男性の家事・育児・介護への参加が増え、女性の負担が減ることにより、女性の社会への参画が進むから」で12.3ポイント、それぞれ高くなっている。

男性が女性よりも割合が高いのは、「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができるから」で、16.8ポイント高くなっている。

(8) 女性の活躍を推進しない方がよい理由

※問26で「3 どちらかといえばそう思わない」、「4 そう思わない」と回答された方のみお答えください。

問28. その理由を教えてください。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

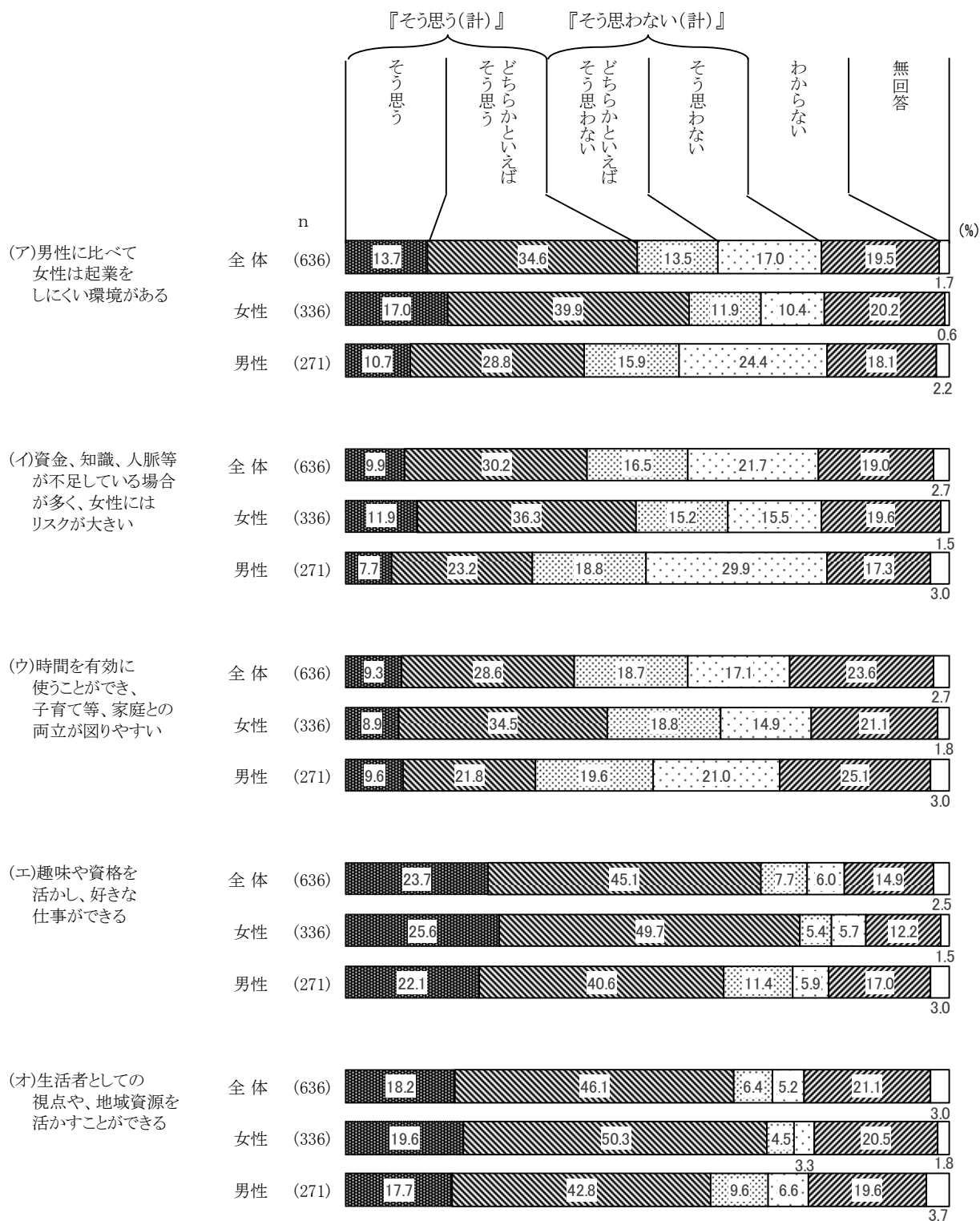


女性の活躍を推進しない方がよい理由を聞いたところ、「昇進等は、性別にかかわらず、能力に応じて行すべきだから」が79.1%で最も高く、次いで「今より仕事が優先され、家庭生活に支障を来すことが多くなるから」で30.2%、「家事も立派な仕事であり、必ずしも外で働く必要はないから」で25.6%となっている。

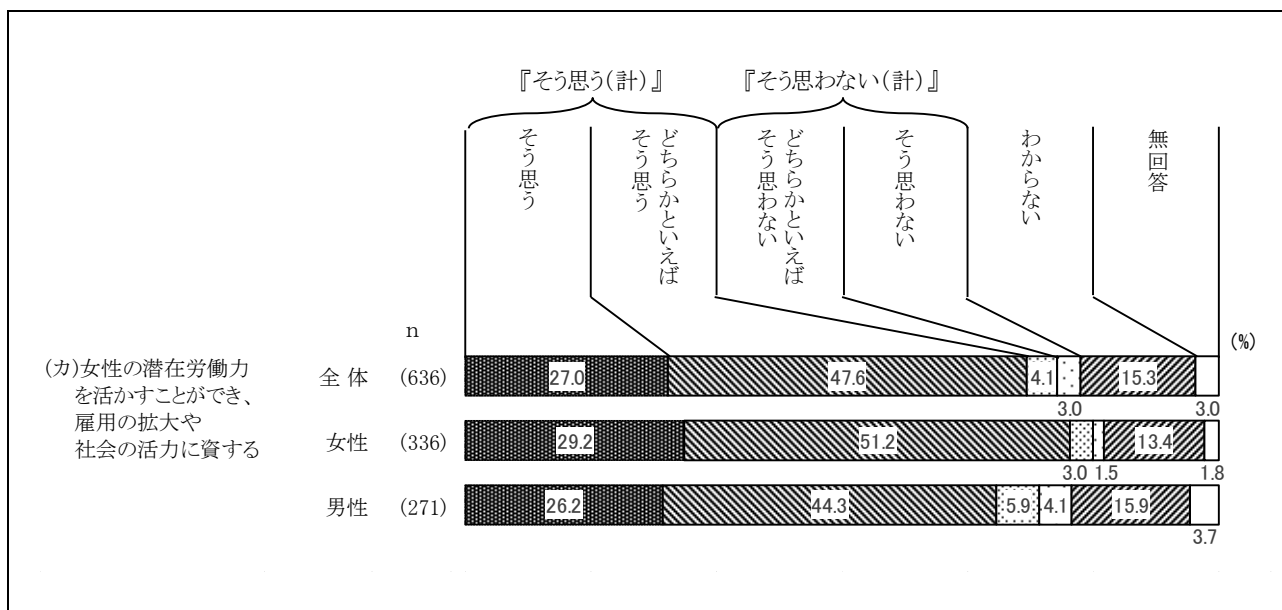
性別にみると、男性が女性よりも「昇進等は、性別にかかわらず、能力に応じて行すべきだから」で31.2ポイント、「家事も立派な仕事であり、必ずしも外で働く必要はないから」で11.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「今より仕事が優先され、家庭生活に支障を来すことが多くなるから」では、女性が男性よりも10.3ポイント高くなっている。

(9) 女性の起業に関する考え方

問29. あなたは、女性が起業することについてどう思いますか。それぞれについてあなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。



(9) 女性の起業に関する考え方



女性の起業に関する考え方について、『そう思う (計)』の割合が最も高いのは、「(カ)女性の潜在労働力を活かすことができ、雇用の拡大や社会の活力に資する」で74.6%となっており、次いで「(エ)趣味や資格を活かし、好きな仕事ができる」で68.8%、「(オ)生活者としての視点や、地域資源を活かすことができる」で64.3%となっている。

一方、『そう思わない (計)』の割合が最も高いのは「(イ)資金、知識、人脈等が不足している場合が多く、女性にはリスクが大きい」で38.2%となっており、次いで「(ウ)時間を有効に使うことができ、子育て等、家庭との両立が図りやすい」で35.8%、「(ア)男性に比べて女性は起業をしにくい環境がある」で30.5%となっている。

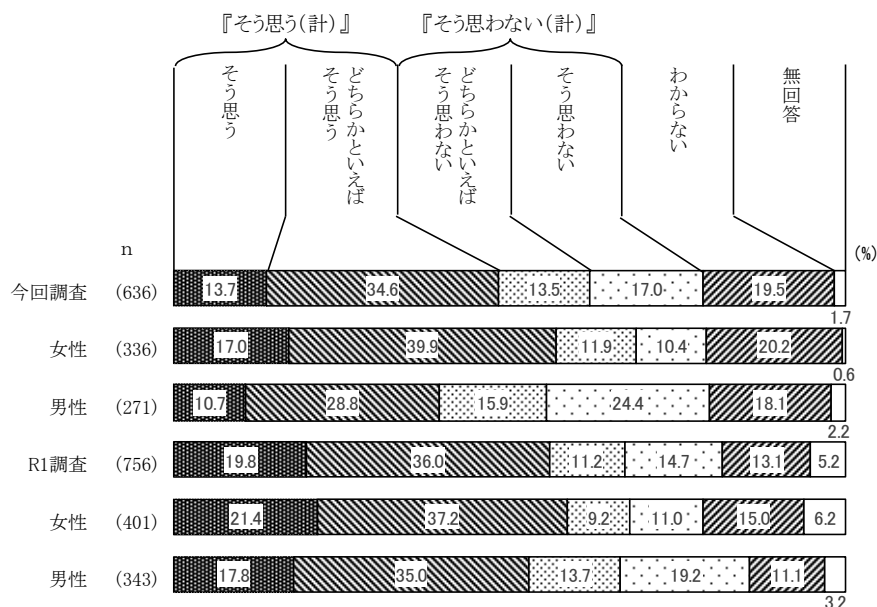
性別にみると、『そう思う (計)』は、すべての項目で女性が男性を上回っており、特に「(ア)男性に比べて女性は起業をしにくい環境がある」で17.4ポイント、「(イ)資金、知識、人脈等が不足している場合が多く、女性にはリスクが大きい」で17.3ポイントと、差が大きくなっている。

(ア) 男性に比べて女性は起業をしにくい環境がある

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う（計）』は7.5ポイント低く、『そう思わない（計）』が4.6ポイント高くなっている。

性別にみると、男性で『そう思う（計）』が13.3ポイント低く、『そう思わない（計）』が7.4ポイント高くなっている。

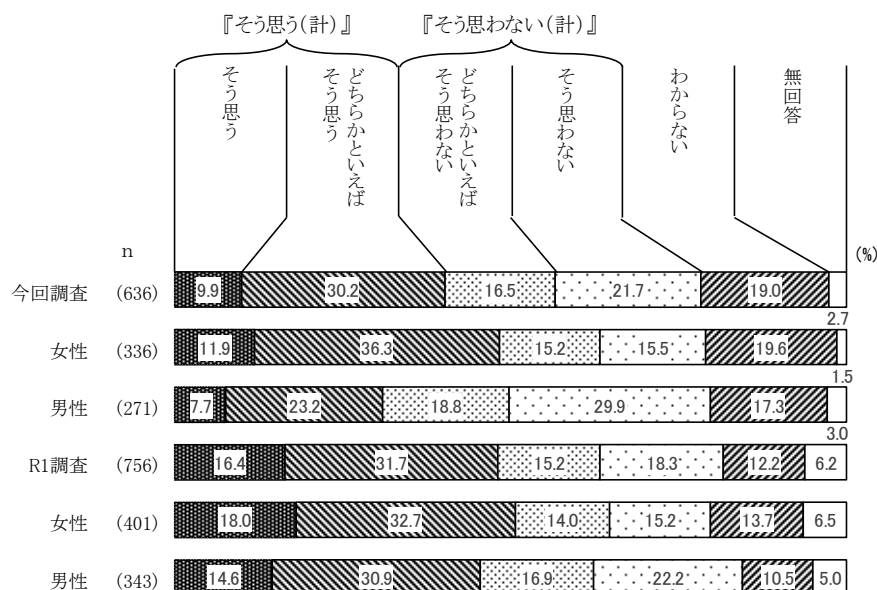


(イ) 資金、知識、人脈等が不足している場合が多く、女性にはリスクが大きい

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う（計）』は8.0ポイント低く、『そう思わない（計）』が4.7ポイント高くなっている。

性別にみると、男性で『そう思う（計）』が14.6ポイント低く、『そう思わない（計）』が9.6ポイント高くなっている。

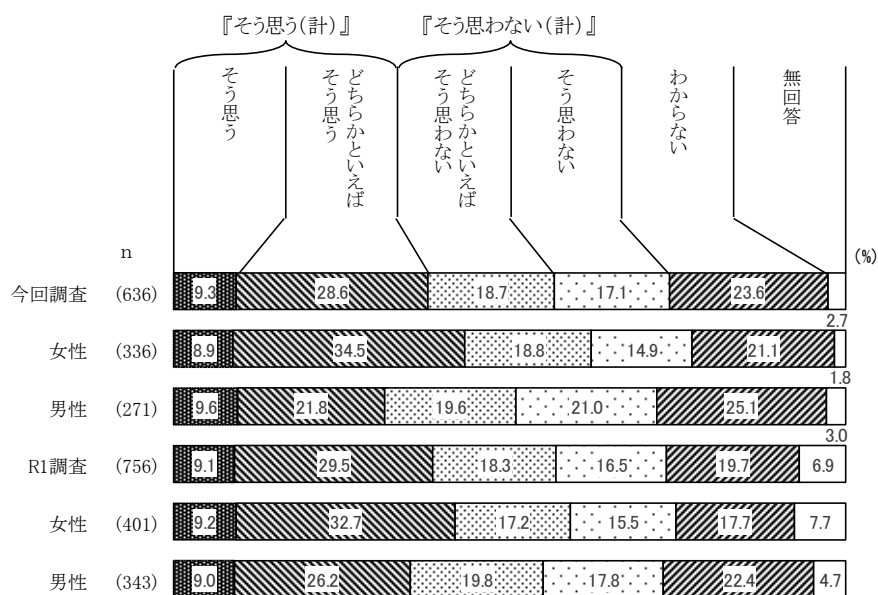


調査の結果／7. 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について
 (9) 女性の起業に関する考え方

(ウ) 時間を有効に使うことができ、子育て等、家庭との両立が図りやすい

【前回調査（令和元年）との比較】

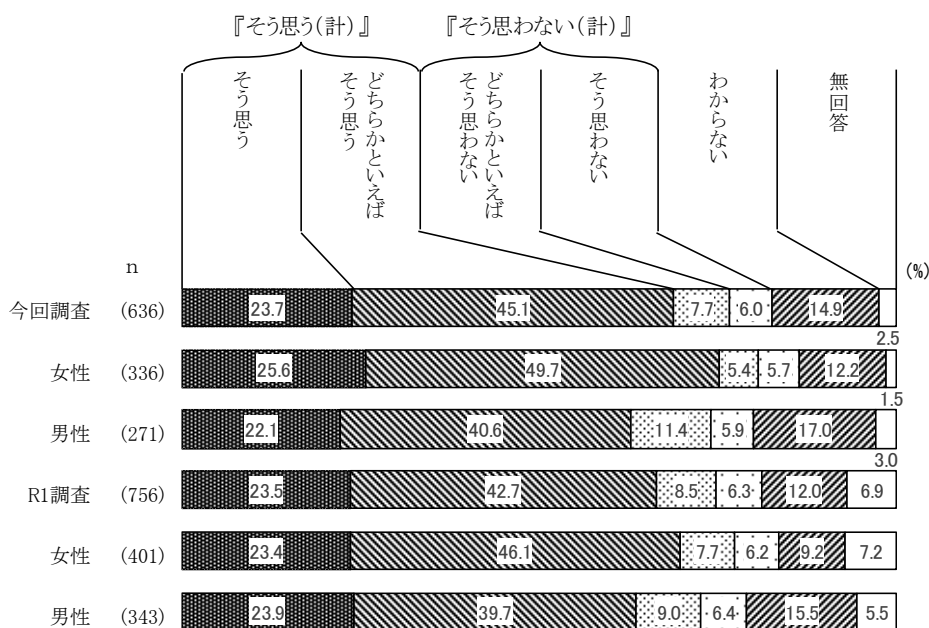
前回調査と比較で大きな差異はみられない。



(エ) 趣味や資格を活かし、好きな仕事ができる

【前回調査（令和元年）との比較】

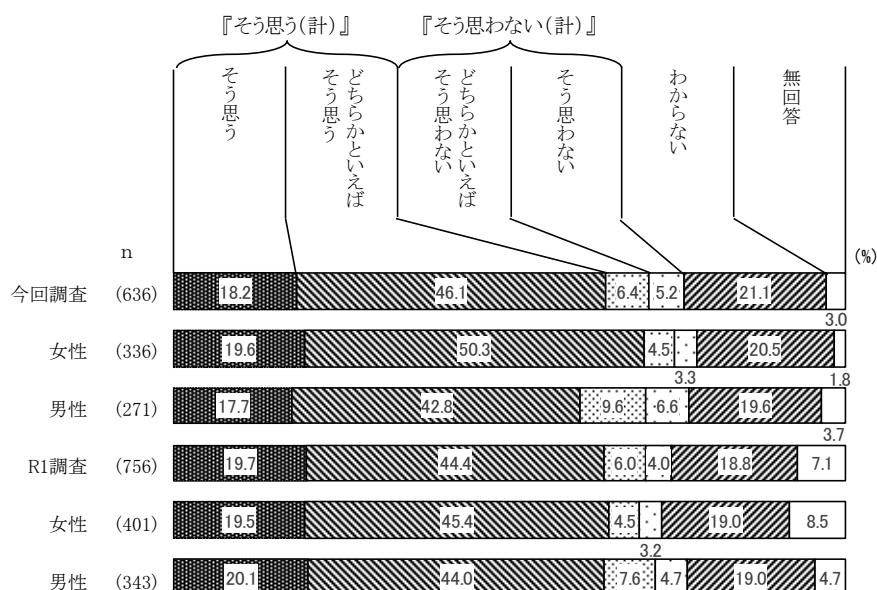
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は、女性で5.8ポイント高くなっている一方、男性で0.9ポイント低くなっている。



(オ) 生活者としての視点や、地域資源を活かすことができる

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、女性で『そう思う（計）』の割合が5.0ポイント高くなっている。



(カ) 女性の潜在労働力を活かすことができ、雇用の拡大や社会の活力に資する

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、女性の『そう思う（計）』の割合が9.3ポイント高くなっている。

